

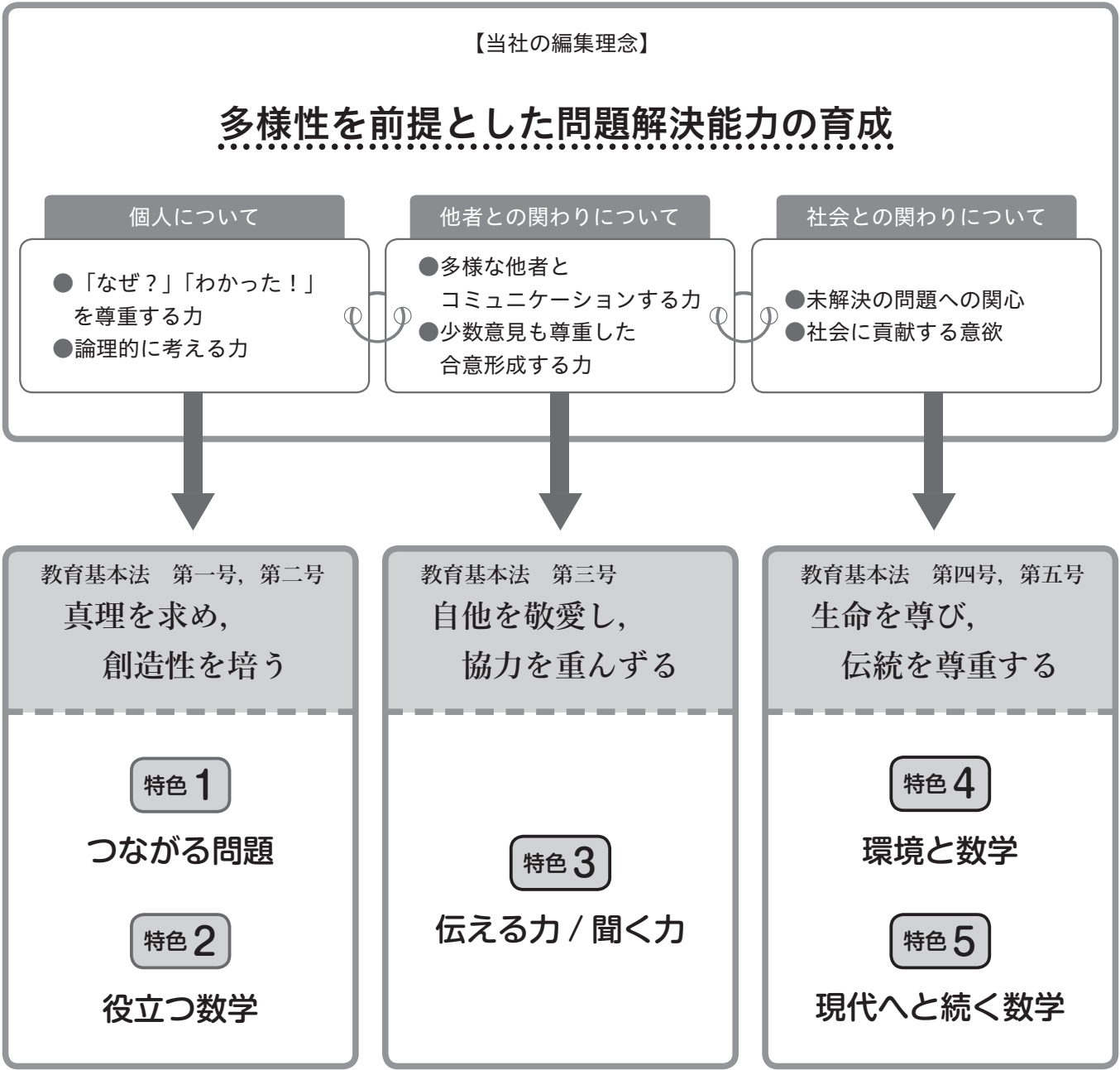
# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| 受理番号      | 学 校       | 教 科     | 種 目 | 学 年 |
|-----------|-----------|---------|-----|-----|
| 31 - 54   | 中学校       | 数学      | 数学  | 1   |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教 科 書 名 |     |     |
| 11 学図     | 703       | 中学校数学 1 |     |     |

## 1. 編修の基本方針

教育基本法を大前提として、資質・能力が育成されるよう、様々な工夫をこらして教科書を編集しました。



# 真理を求める態度を養う

## 特色 1

## つながる問題

— 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

身のまわりから、数学の学習の中から、自ら問題を発見し、それを数学の問題として考えていく中で、必要な知識や教養を身につけられるようにしました。そこから、数学だけでなく、生活の中における問題解決のための力を養うことや、問題を見直し、批判的に考察することで、真理を求める態度を養うことができるようにしました。

### 次の課題へ！

様々な疑問から問題を発見する場面を設定することで、**なぜ学習する必要があるか**が明確になり、また**見通しをもって学習**に取り組むことで、学習の動機づけを行うことができるようにしました。

### QUESTION

自らが見つけた課題を、数学の問題として解釈し、場面を**モデル化**したり、**理想化**したりすることで、どのように解決していけばよいか**主体的・対話的**に考えながら、取り組むことができるようにしました。

### 見方・考え方

問題を解決するために、どのような「**見方・考え方**」をしていくのかという一つの目安を提示することで、今後の学習や生活に活用できるようにしました。

### 話し合いから目標

課題に対し、話し合いの場面を提示することで見いだされることを目標として設定し、自分たちが見つけた課題を解決していくという**意欲をもたせる**ことができるようにしました。

### どんなことがわかったかな

自分たちが見つけた目標に対し、どんなことがわかったかをまとめ、その中から発見した新たな問題を入れることで、**学習のつながり**を意識しながら、**主体的に学習を深めていける**ようにしました。

### 次の課題へ！

### 4章 比例と反比例

Chapter 4

ともなってしまう2つの数量の関係は？

縦25m、横13m、深さ1.2mのプールがあります。プール開きの日に、プールをきれいに掃除したあと、一定の割合で、プールが満水になるまで水を入れていきます。

1 プールに水を入れるとき、ともなってしまう2つの数量をいかに見つけよう。

2 次の①～④の水そうに一定の割合で水を入れます。水を入れる時間と水位の関係をグラフにすると、それぞれ①～④のどれになるでしょうか。ただし、水位はいまは低いところとします。

3 右の水そうに一定の割合で水を入れたとき、水を入れた時間と水位の関係をグラフにするとどうなりますか。おおよそのグラフをノートに書きましょう。

4 身のまわりから、ともなってしまう2つの数量の関係にあるものを探しましょう。

5 次の①～④の水そうに一定の割合で水を入れます。水を入れる時間と水位の関係をグラフにすると、それぞれ①～④のどれになるでしょうか。ただし、水位はいまは低いところとします。

6 次の①～④の水そうに一定の割合で水を入れます。水を入れる時間と水位の関係をグラフにすると、それぞれ①～④のどれになるでしょうか。ただし、水位はいまは低いところとします。

▶ P.128 ~ 129

### QUESTION

縦90cmの長方形の窓を $x$ cm開けたとき、開けた部分の周囲の長さを $y$ cmとします。 $x$ と $y$ の関係を、次の表にまとめてみましょう。

| 開けた幅 $x$ (cm)  | 10  | 20  | 30 | 40 | 50 | 60 | ... |
|----------------|-----|-----|----|----|----|----|-----|
| 周囲の長さ $y$ (cm) | 200 | 220 |    |    |    |    | ... |

見方・考え方  
2つの数量の関係は、どこに着目するとわかるかな。

目標 ▶ ともなってしまう2つの数量の関係を調べよう。

▶ P.130

### どんなことがわかったかな

ともなってしまう2つの数量 $x$ 、 $y$ で、 $x$ の値を決めると $y$ の値が決まるとき、 $y$ は $x$ の関係であるといえます。

### F 次の課題へ！

比例や反比例で、変数や変域を負の数にしてもいいのかな？

P.133

▶ P.132

### QUESTION

右の図のように、深さ20cmの空の水そうに、1分間に2cmずつ水位が増加するように水を入れています。現在の水位を基準の0cmとし、 $x$ 分後の水位を $y$ cmとします。

(1)  $x$ と $y$ の関係を、次の表にまとめてみましょう。

| $x$ (分)  | -5 | -4 | -3 | -2 | -1 | 0  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----------|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|
| $y$ (cm) |    |    |    |    |    | -2 | 0 | 2 | 4 |   |   |

1分前は、現在より1分前を表しているね。

P.133

## 創造性を培う

### 特色 2

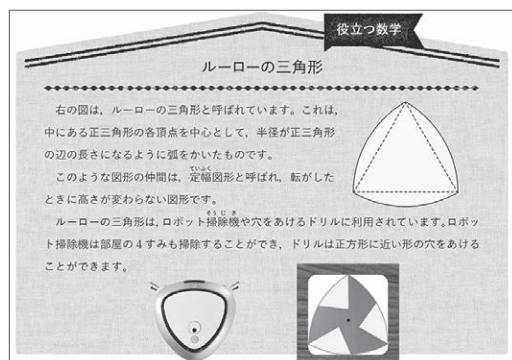
## 役立つ数学

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

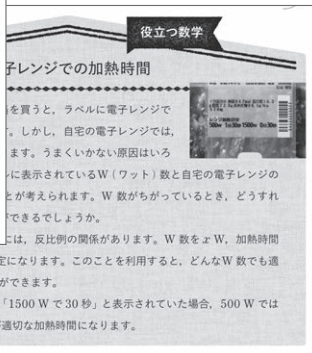
身のまわりで、普段気づかないようなところにも数学が潜んでいると気づくことができるように配慮するとともに、数学を実際に役立てている職業にスポットライトを当て、数学を学ぶ意欲を喚起することができるようになりました。

### 役立つ数学

これまで学んだ数学がどんなところで役立っているかをコラムで紹介し、学習に対する意欲を高めることができるようにしました。



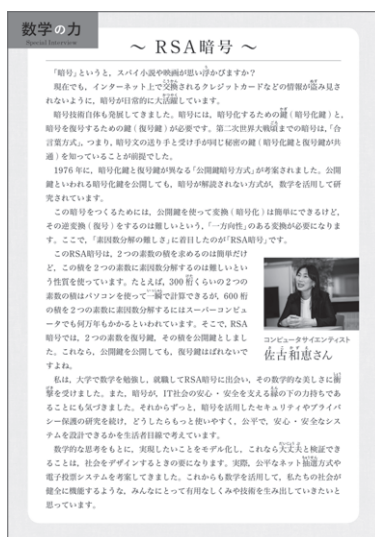
▶ P.192



▶ P.163

### 数学の力

キャリア教育の一環として、数学を実際の仕事に役立てている人のコラムを掲載しました。



▶ 表見返し

## 自他の敬愛と協力を重んずる

### 特色 3

## 伝える力 / 聞く力

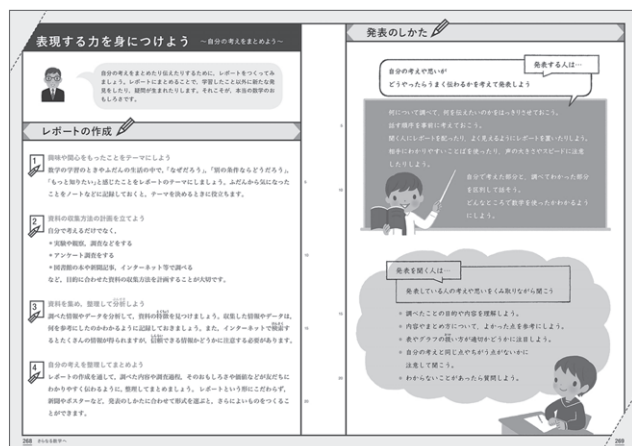
三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

自分の考えを人に伝えることと同じように、人の話を聞くことが大切であると気づくことができるよう、他者の考えを説明する場面を設定し、実際にどんなことに注意して考えを伝え、考えを聞くかが明確になるようにしました。

### 表現する力を身につけよう

▶ P.270～271

自分の考えを他者に伝えたり、他者の考えを理解したりする思考力、判断力、表現力等が身につくように、発表のしかたやレポート例を掲載しました。



▶ P.268～269



生命を尊び、自然を大切にする態度を養う

## 特色 4

## 環境と数学

環境や自然を守るために、自分たちが学んできた数学が活用できることに気づかせ、それを実際に生かしてみたいくなるような課題を設定することで、数学の有用性と環境の保全を意識できるように配慮しました。

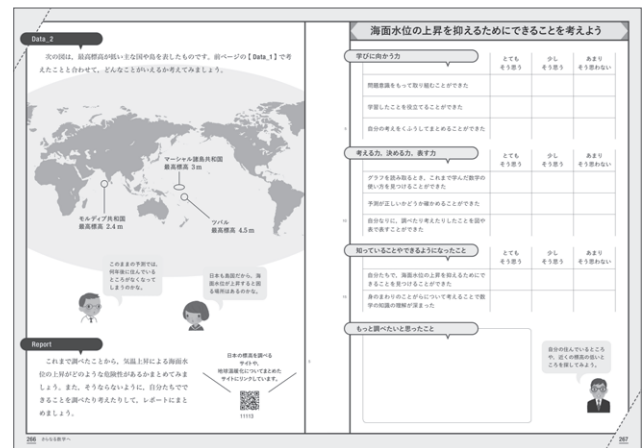


▶ P.264 ~ 265

四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

## 今の自分を知ろう

1年間の数字の学習を見直し、どんなところで数学で学んだ考え方が役立てられるか、**気温と海面水位の上昇**の課題をもとにして、**パフォーマンス課題**に取り組むことができます。また、課題に対する**自己評価**もできるようにしています。



▶ P.266 ~ 267

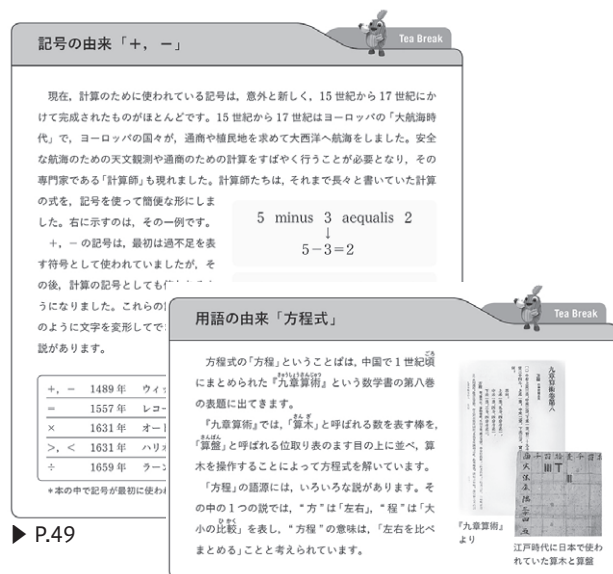
伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する

## 特色 5

## 現代へと続く数学

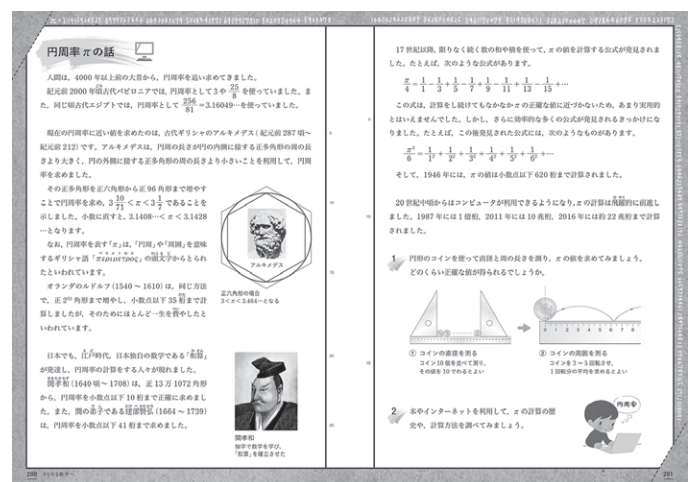
五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

数学は古代ギリシャの時代から脈々と受け継がれてきた学問であり、いま、自分たちが学んでいる数学は、それらの人々の様々な発見や発想の上に成り立っていると気づくことができるよう、日本だけでなく、世界における数学の歴史的な背景を取り上げました。



▶ P.49

▶ P.101



▶ P.280 ~ 281



## 2. 対照表

| 図書の構成・内容              | 特に意を用いた点や特色                                                                                                                                                                                                                   | 該当箇所                                            |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 全章                    | 男女生徒の名前はすべて「さん」づけとしました（第三号）。<br>自分の考えを説明したり、話し合ったりする活動を取り入れました（第二号）。<br>学習中に抱くであろう生徒の問いを取り上げ、それを解決していこうとする姿勢を養うようにしました（第一号）。                                                                                                  | 全般<br>18 ページ他<br>29 ページ他                        |
| 1 章<br>正の数・負の数        | + や - など、計算に使われている記号がいつどのように誕生したかを取り扱いました（第五号）。<br>太陽電池と発電に関連し、再生可能エネルギーを利用した教材を取り上げました（第二, 四号）。                                                                                                                              | 49 ページ<br>63 ページ                                |
| 2 章<br>文字式            | ストローの本数を求める考え方をいくつか取り上げることで、個人の価値を尊重するとともに、他者との協働を図ることができるようにしました（第二号）。<br>花火が見えてから音が聞こえるまでの時間を考察する課題を取り上げることで、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるようにしました（第五号）。                                                                             | 66 ～ 67 ページ他<br>75 ページ                          |
| 3 章<br>1 次方程式         | 方程式の用語の由来に関連して、九章算術を紹介しました（第五号）。<br>フード・マイレージに関連した教材を取り上げることで、地球温暖化の問題を考える際の基礎を培うことができるようにしました（第三, 四号）。                                                                                                                       | 101 ページ<br>124 ページ                              |
| 4 章<br>比例と反比例         | ランドルト環に関連した教材を取り上げることで、比例や反比例が身近で活用されていることを感じるできるようにしました（第二号）。<br>エコキャップ運動に関連した教材を取り上げることで、ペットボトルのキャップがワクチン代として寄付できることを知ることができるようにしました（第二, 三, 四, 五号）。<br>地震による初期微動継続時間と震源までの距離の関係をすることで、防災に対する意識を重視する態度を養うようにしました（第二, 四号）。    | 156 ～ 158 ページ<br>162 ページ<br>164 ページ             |
| 5 章<br>平面図形           | ルーローの三角形を利用した掃除機やドリルが身のまわりにあることを知り、生活との関連を重視する態度を養うことができるようにしました（第二号）。                                                                                                                                                        | 192 ページ                                         |
| 6 章<br>空間図形           | 身のまわりの建造物が、見方によって図形として考えられることに気づき、幅広い教養を身につけることができるようにしました（第二号）。<br>円錐の側面積を、円錐状のケーキの側面にあめをコーティングするとみなして考える課題を取り上げました（第二, 五号）。                                                                                                 | 194 ページ<br>228 ページ                              |
| 7 章<br>データの活用         | データが活用されている例として、POS システムを取り上げることで、生活との関連を重視する態度を養うことができるようにしました（第二号）。<br>日本の年齢別人口（人口ピラミッド）を扱うことにより、これからの社会に関心をもち、その発展に寄与する態度を養うようにしました（第三号）。                                                                                  | 257 ページ<br>258 ページ                              |
| さらなる数学へ<br>～協働学習のページ～ | SDGs に関連して、気温と海面水位の上昇について考察することで、自然を大切に、郷土を愛する態度を養うことができるようにしました（第四, 五号）。<br>表現する力を身につけるためのレポート活動を取り上げ、レポート発表における発表する者とそれを聞く者の注意点を示しました（第一, 二, 三号）。<br>円周率計算の歴史に関連して、アルキメデスなどの業績を紹介することで、数学が国境を超えて発展してきたことを理解できるようにしました（第五号）。 | 264 ～ 267 ページ<br>268 ～ 271 ページ<br>280 ～ 281 ページ |
| 口絵                    | 数学を役立てている職業の人のコラムを掲載することで、数学が自分たちの生活に生きていることを実感できるようにするとともに、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養うことができるようにしました（第二, 三号）。                                                                                                                     | 表見返し                                            |

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 学校教育法第二十一条六の目標を達成するために、7 章「データの活用」では、生活に関わるデータを取り上げ、データの取り扱い方を理解するとともに、コンピュータを用いて能率的に処理できるように配慮しました。
- 学校教育法第二十一条七の目標を達成するために、4 章「比例と反比例」の章のまとめの問題の中で、毛細管現象について取り上げ、科学に対する基礎的な能力を養うようにしました。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

| 受理番号      | 学 校       | 教 科     | 種 目 | 学 年 |
|-----------|-----------|---------|-----|-----|
| 31 - 54   | 中学校       | 数学      | 数学  | 1   |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名    |     |     |
| 11 学図     | 703       | 中学校数学 1 |     |     |

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

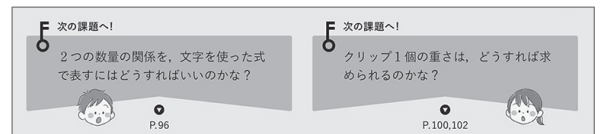
### 1 主体的・対話的で深い学びを実現するために

#### ① 主体的な学びの実現

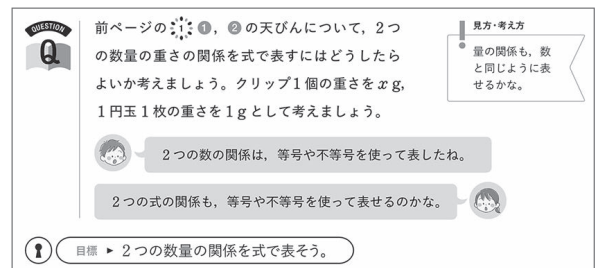
章の導入で、新しい学習内容への興味・関心が得られるよう、身近な題材を扱い、自然に出される疑問を発見し、それについて考えてみたいという意欲を引き出し、「次の課題へ！」として提示しています。

その疑問を受ける形で、「Q」として数学の問題におきかえ、これからどんな学習をすればよいかという「目標」を、自分たちの言葉で表し、学習を進めていきます。

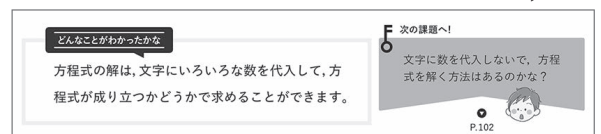
ある程度の学習を終えた段階で、「どんなことがわかったかな」としてこれまでの学習をまとめ、さらにそこから出される「次の課題へ！」とつなげていくことで、自分たちの疑問を解決する形で学習が進められるという主体的な学びが実現できるようにしています。



▶ P.95



▶ P.96



▶ P.101

#### ② 対話的な学びの実現

「Q」では、つねに話し合い活動を取り入れ、その話し合いから学習の目標を立てることで、対話的な学びが実現できるようにしています。

また、「数学的活動のページ」では、問題発見から課題解決を通して話し合いをベースに考え、さらに新たな問題を発見する過程を示すことで、対話的な学びが実現できるようにしています。



▶ P.217 ~ 218

#### ③ 深い学びの実現

「数学的活動のページ」では、問題を発見し、解決する過程を示していますが、さらに新たな問題を発見したり、条件を変えて考えたりできるような問いかけを示すことで、深い学びが実現できるようにしています。

また、章末の「深めよう」、巻末の「疑問を考えよう」などの課題を通して、章ごとの学習だけではなく、領域横断、教科横断的な学習に取り組むことができるようにしています。



▶ P.164

▶ P.276

## 2 資質・能力を育むために

### ① 基礎・基本を含む知識・技能の育成

本文中の「例」では、適切な箇所にノート形式の解答を示し、模範的な解答の書き方を示しました。ノートを書く際に気をつける点についても同時に示すことで、基礎・基本を身につけることができるようにしました。

問の中で適宜、誤答問題である「正しいかな?」を設定し、誤りやすい箇所などを明確にすることで、さらなる習熟が図れるようにしました。

「計算力を高めよう」、「確かめよう」では、どこで学んだ学習であるかを明確にすることで、つねにふりかえって学習に立ち戻れることを示しました。

### ② 思考力・判断力・表現力等の育成

「数学的活動のページ」では、身のまわりの事象の中から問題を発見し、考察したり、性質を見いだしたりすることで、統合的・発展的に課題を解決していくことができるようにしました。

また、本文中の「問」や章末の「活用問題」では、論理的に思考したり、問題文から必要な情報を取捨選択したり、それを説明したりするといった課題を取り上げました。

### ③ 学びに向かう力・人間性の育成

章の学習の最後に、「できるようになったこと」として、これまでの学習からどんなことができるようになったか、自分で判断できるようにしています。また、「さらに学んでみたいこと」を自分のことばで記入することで、もっと学んでみたいという意欲をもたせられるようにしました。

本文中の「おしえて!」では、学習の中で子どもが自然に感じるであろう疑問を取り上げ、その答えの1つとして「Tea Break」でコラムを掲載しています。

巻末の「今の自分を知ろう」では、SDGsを取り上げ、その中から自分たちができることが何かを考察し、生活にいかに関与できるかを実感できるようにしました。

例1  $7+(-8)-5-(-4)$  を計算しなさい。

考え方 かつこのついた加法や減法で書かれた部分を、項を並べた形に直して計算する。

解答  $7+(-8)-5-(-4)$   
 $=7-8-5+4$   
 $=7+4-8-5$   
 $=11-13$   
 $=-2$

7+(-8)-5-(-4)  
 $=7+(-8)-5+(+4)$   
 $=7-8-5+4$

式の説明なども書いておこう。

答  $-2$

▶ P.32

問13 真央さんは、 $(8x-3) \div 2$  の計算を、右のように、分数の形に直して行いました。この計算は正しいですか。誤りがあれば、正しく直しなさい。

やってみよう  
計算力を高めよう3-3  
P.88

正しいかな?  
 $(8x-3) \div 2$   
 $= \frac{8x-3}{2}$   
 $= 4x-3$

▶ P.84

表16 平日1日に家で勉強する時間

| 時間(分)    | 人数(人) |
|----------|-------|
| 0 ~ 30   | 25    |
| 30 ~ 40  | 21    |
| 40 ~ 50  | 15    |
| 50 ~ 60  | 14    |
| 60 ~ 70  | 8     |
| 70 ~ 80  | 4     |
| 80 ~ 90  | 1     |
| 90 ~ 100 | 2     |
| 計        | 90    |

表17 平日1日に家で勉強する時間

| 時間(分)    | 人数(人) | 人数(人) | 人数(人) |
|----------|-------|-------|-------|
| 0 ~ 30   | 15    | 25    |       |
| 30 ~ 40  | 45    | 21    |       |
| 40 ~ 50  | 75    | 15    |       |
| 50 ~ 60  | 105   | 14    |       |
| 60 ~ 70  | 135   | 8     |       |
| 70 ~ 80  | 165   | 4     |       |
| 80 ~ 90  | 195   | 1     |       |
| 90 ~ 100 | 225   | 2     |       |
| 計        | 90    |       |       |

表17について、次の問いに答えなさい。  
(1) 中央値は、どの階級に入っているでしょうか。  
(2) 最頻値を求めなさい。  
(3) 真央さんが平日1日に家で勉強する時間は65分です。1年生の中で良いといえるでしょうか。その理由も説明しましょう。

▶ P.252

6章「空間図形」を学んで

できるようになったこと

☒ 空間内の直線や平面の性質を理解することができる。

☒ 立体を投影図、展開図、見取図で表したり、面が動いてできる図形とみたりすることができる。

☒ 立体の表面積や体積を、小学校で学んだことを生かしたり、実験から求め方を導いたりして求めることができる。

さらに学んでみたいこと

これからもっと学んでみたいことや、疑問に思ったことを書いておこう。

▶ P.229

▶ P.264 ~ 265

今の自分を知ろう

Sustainable Development Goals

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」のことで、SDG(Sustainable Development Goals)の略称です。SDGsは、2030年までに達成を目指す17の目標です。SDGsは、持続可能な開発のための目標であり、持続可能な開発を実現するための目標です。

SDGsの17の目標のうち、これまでに達成された目標を比べて、自分たちが達成している目標を確認しましょう。

海面水位の上昇を抑えるためにできることを考えよう

海面水位の上昇を抑えるためにできることを考えよう

海面水位の上昇を抑えるためにできることを考えよう

海面水位の上昇を抑えるためにできることを考えよう

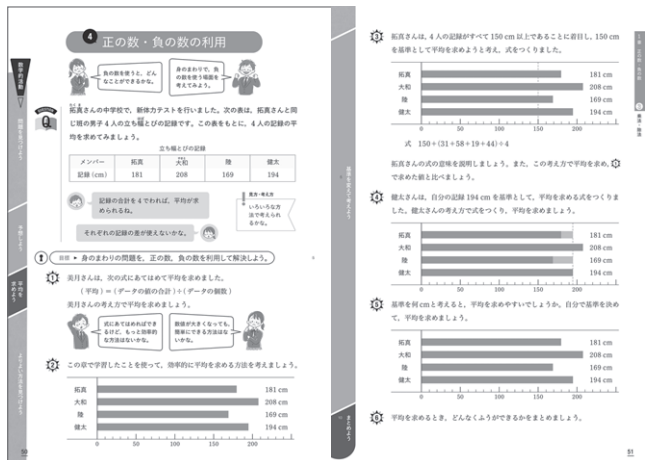
▶ P.266 ~ 267



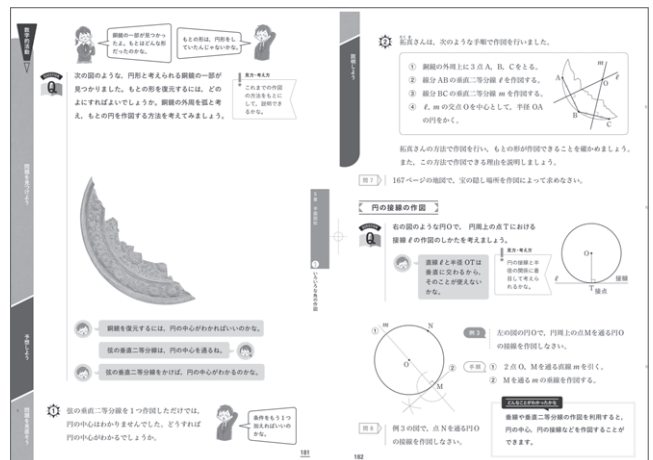
### 3 数学的活動を通じた学習ができるために

「数学的活動のページ」では、「算数・数学の学習過程のイメージ」を具現化し、1つの課題に対する問題発見から解決までの過程が見えるよう、ページの左側に、いま、どのような過程で学習しているかが明確になるようにしました。さらに、サイクルが1周だけではなく、2周、3周、…と続いていくことで数学的活動が充実できることを示すために、新たな問題を見つけたり、疑問を考えたりするようにしました。

1つの課題だけでなく、本文の展開も、自分たちで見つけた課題「次の課題へ!」から「目標」を発見し、学習を進めて「どんなことがわかったかな」でまとめ、また新たな「次の課題へ!」とつながっていくような展開にしているため、学習全体が数学的活動として展開できるような配列にしています。



▶ P.50 ~ 51

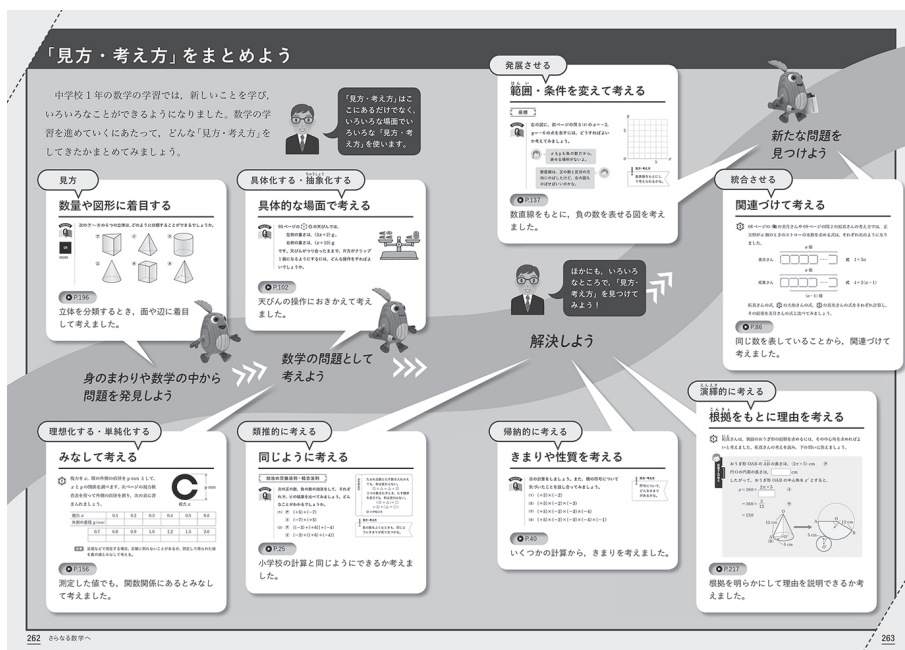


▶ P.181 ~ 182

### 4 見方・考え方を働かせるために

導入問題である「Q」では、問題に対してどのような見方・考え方をしていくのかを側注として明示することで、着実に様々な見方・考え方ができるようになっていき、その他の数学や社会の問題においても、見方・考え方を働かせることができるようにしました。

また、巻末ではこれまでの見方・考え方をまとめた『見方・考え方をまとめよう』を掲載することで、見方・考え方にはいろいろな観点があることが明確になり、より深い理解につなげることができるようにしました。



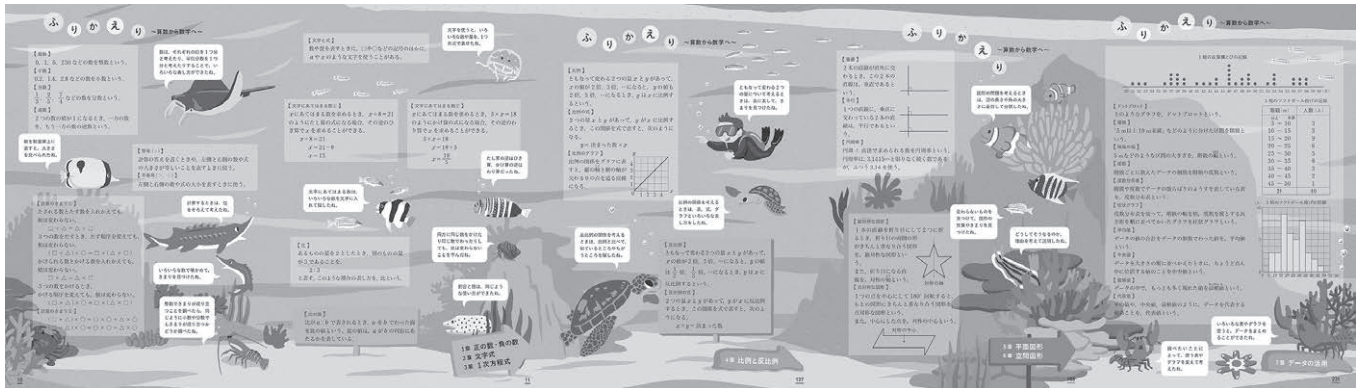
▶ P.262 ~ 263



## 5 様々な課題に対応するために

### ① 小中高連携

各領域ごとに「ふりかえり」のページを挿入し、小学校でどんなことを学んできたかふりかえることで、スムーズにその学年の学習に入っていけるようにしました。



▶ P.10-11

▶ P.127

▶ P.165

▶ P.231

### ② キャリア教育

キャリア教育の一環として、表見返しに「数学の力」、章末に「役立つ数学」のコラムを掲載することで、数学が身のまわりなどで役立つことを実感し、学びに向かう意欲を喚起するようにしました。

### ③ プログラミング教育

裏見返しに「プログラミングを体験してみよう」のページを設定することで、論理的な思考の大切さやICT活用の重要性に気づくことができるようにしました。

### ④ SDGs

持続可能な開発目標（SDGs）に触れることで、国際的な課題に取り組むことができるよう、パフォーマンス課題として、「今の自分を知ろう」を設定しました。学習の最後にループリックによる自己評価表を掲載しており、1年間の学習を総括できるように配慮しました。

## 6 教科書の工夫

### ① この教科書を使った数学の学び方

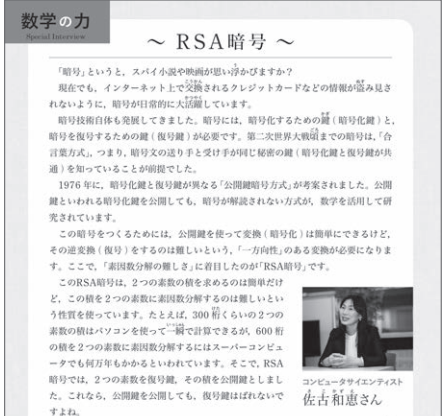
巻頭で「この教科書を使った数学の学び方」を掲載し、どのように学習を進めていくか、典型的な例を示しています。

### ② アイデアボード

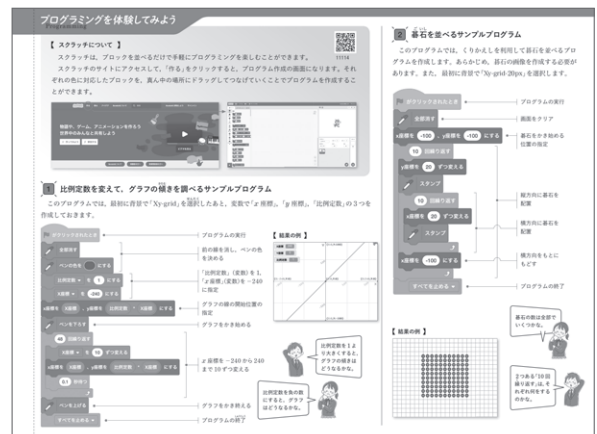
裏見返しにホワイトボードマーカーで書いたり消したりできるページを添付しました。個人で考察する際や、グループで考えを出し合う際などに役立てることができます。

### ③ ユニバーサルデザイン

特別支援教育の専門家による指導のもと、ユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりを行っています。



▶ 表見返し



▶ 裏見返し

## 2. 対照表

| 図書の構成・内容    | 学習指導要領の内容   | 該当箇所                                     | 配当時数 |
|-------------|-------------|------------------------------------------|------|
| 1 章 正の数・負の数 | A (1) ア (ア) | 12 ～ 19 ページ                              | 28   |
|             | A (1) ア (イ) | 21 ～ 49 ページ                              |      |
|             | A (1) ア (ウ) | 50 ～ 52<br>ページ                           |      |
|             | A (1) イ (ア) | 21 ～ 49 ページ, 54 ～ 55 ページ                 |      |
|             | A (1) イ (イ) | 50 ～ 52 ページ                              |      |
|             | 内容の取扱い (1)  | 56 ～ 59 ページ                              |      |
|             | 内容の取扱い (2)  | 54 ～ 55 ページ                              |      |
| 2 章 文字式     | A (2) ア (ア) | 66 ～ 70 ページ                              | 18   |
|             | A (2) ア (イ) | 71 ～ 73 ページ, 82 ～ 84 ページ                 |      |
|             | A (2) ア (ウ) | 79 ～ 82 ページ                              |      |
|             | A (2) ア (エ) | 70 ページ, 74 ～ 77 ページ                      |      |
|             | A (2) イ (ア) | 81 ページ, 85 ～ 86 ページ                      |      |
| 3 章 1 次方程式  | A (2) ア (エ) | 94 ～ 99 ページ                              | 17   |
|             | A (3) ア (ア) | 100 ～ 104 ページ                            |      |
|             | A (3) ア (イ) | 105 ～ 109 ページ                            |      |
|             | A (3) イ (ア) | 102 ～ 106 ページ                            |      |
|             | A (3) イ (イ) | 112 ～ 116 ページ                            |      |
|             | 内容の取扱い (3)  | 94 ～ 99 ページ                              |      |
|             | 内容の取扱い (4)  | 117 ～ 120 ページ                            |      |
| 4 章 比例と反比例  | C (1) ア (ア) | 128 ～ 132 ページ                            | 21   |
|             | C (1) ア (イ) | 133 ～ 135 ページ, 144 ～ 146 ページ             |      |
|             | C (1) ア (ウ) | 137 ～ 138 ページ                            |      |
|             | C (1) ア (エ) | 136 ページ, 139 ～ 142 ページ,<br>147 ～ 150 ページ |      |
|             | C (1) イ (ア) | 152 ～ 158 ページ                            |      |
|             | C (1) イ (イ) | 152 ～ 158 ページ                            |      |
|             |             |                                          |      |
| 5 章 平面図形    | B (1) ア (ア) | 166 ～ 176 ページ                            | 19   |
|             | B (1) ア (イ) | 184 ～ 188 ページ                            |      |
|             | B (1) イ (ア) | 166 ～ 176 ページ                            |      |
|             | B (1) イ (イ) | 184 ～ 188 ページ                            |      |
|             | B (1) イ (ウ) | 177 ～ 182 ページ, 184 ページ, 188 ページ          |      |
|             | 内容の取扱い (5)  | 179 ～ 182 ページ                            |      |
| 6 章 空間図形    | B (2) ア (ア) | 201 ～ 206 ページ                            | 19   |
|             | B (2) ア (イ) | 212 ～ 223 ページ                            |      |
|             | B (2) イ (ア) | 194 ～ 200 ページ, 207 ～ 210 ページ             |      |
|             | B (2) イ (イ) | 212 ～ 223 ページ                            |      |
|             | 内容の取扱い (6)  | 194 ～ 199 ページ, 207 ～ 210 ページ             |      |
| 7 章 データの活用  | D (1) ア (ア) | 232 ～ 245 ページ                            | 18   |
|             | D (1) ア (イ) | 259 ～ 260 ページ                            |      |
|             | D (1) イ (ア) | 248 ～ 253 ページ                            |      |
|             | D (2) ア (ア) | 243 ～ 244 ページ                            |      |
|             | D (2) イ (ア) | 243 ～ 245 ページ, 250 ページ, 253 ページ          |      |
| 計           |             |                                          | 140  |

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

| 受理番号      | 学 校       | 教 科     | 種 目 | 学 年 |
|-----------|-----------|---------|-----|-----|
| 31 - 54   | 中学校       | 数学      | 数学  | 1   |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教 科 書 名 |     |     |
| 11 学図     | 703       | 中学校数学 1 |     |     |

| ページ | 記述                    | 類型 | 関連する学習指導要領の内容や<br>内容の取扱いに示す事項                                                           | ページ数 |
|-----|-----------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 77  | $a^1$ や $a^0$ はあるのかな？ | 1  | A (2) ア (イ)<br>文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。                                               | 0.5  |
| 87  | 2 次の項や 2 次式もあるのかな？    | 1  | A (2) ア (ア)<br>文字を用いることの必要性和意味を理解すること。                                                  | 0.25 |
| 93  | カレンダーの数の秘密を考えよう       | 1  | A (2) ア (エ)<br>数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。                   | 1    |
| 110 | 2 次方程式もあるの？           | 1  | A (3) ア (ア)<br>方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。                                        | 0.5  |
| 121 | 不等式の解を求めよう            | 1  | 内容の取扱い (3)<br>内容の「A 数と式」の(2)のアの(エ)に関連して、大小関係を不等式を用いて表すことを取り扱うものとする。                     | 1    |
| 225 | 球の体積                  | 1  | A (2) ア (イ)<br>文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。                                               | 0.5  |
| 229 | オイラーの多面体定理            | 2  | B (2) イ (ア)<br>空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすること。 | 0.5  |
| 278 | 立方体の切り口の形は？           | 2  | B (2) イ (ア)<br>空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすること。 | 1    |
| 合計  |                       |    |                                                                                         | 5.25 |